

## 企画展示「知識を世界に求めて—明治維新前後の翻訳事情—」開催 国立国会図書館が所蔵する約200点の資料を展示します

国立国会図書館東京本館において、11月11日（金）から12月9日（金）まで、翻訳をテーマとした展示会を開催します。予約不要で、どなたでも無料でご覧いただけます。是非お越しください。



**会場：**国立国会図書館東京本館 新館1階展示室

**会期：**令和4年11月11日（金）～12月9日（金）※日曜日、祝日、11月16日（水）を除く

**時間：**10:00～19:00（土曜日は18:00まで）

※開催状況に変更がある場合は、ホームページ、Twitter、Facebook 等でお知らせします。

ホームページ <https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/exhibition2022.html>

Twitter [@NDLJP](https://twitter.com/NDLJP) Facebook [@NDLExhibition](https://www.facebook.com/NDLExhibition)

- 問合せ先 利用者サービス部 サービス企画課 展示企画係 03-3581-2331（代表）
- 報道機関の方の問合せ先 総務部総務課 広報係 03-3506-5103（直通）

## 展示概要

江戸時代後期から明治時代前期の翻訳事情に焦点を当て、国立国会図書館が所蔵する中国や西洋諸国の原書及びその翻訳書、約 200 点を展示します。江戸時代にオランダから渡ってきた蘭書とその翻訳や、明治時代にベストセラーとなった翻訳書、今日でも親しまれている海外文学の翻訳書等、さまざまな分野の翻訳書が一堂に会します。

また、当時の翻訳事情や翻訳者のエピソードもあわせてご紹介します。

(展示資料例)



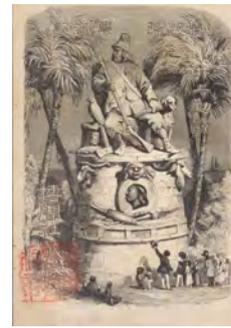
オランダ語の医学書を訳した『解体新書』  
(安永 3 (1774) 年)



国際法の知識を人々に伝えた『万国公法』  
(江戸末期)



ベストセラーになった福澤諭吉の『西洋事情』  
(明治 3 (1870) ~ 5 (1872) 年)



明治時代に井上勤が翻訳したロビンソン・クルーソー『魯敏孫漂流記：絶世奇談』  
(明治 16 (1883) 年)

## 関連講演会

企画展示の開催に関連し、オンライン形式（事前申込制）で講演会を開催します。

○日時：11月12日（土）13:30～15:00。その後30分程度、質疑応答を予定。

○演題：翻訳学の視座から読む明治の文学翻訳者の言説—なぜ、いかにして訳すのか—

○講師：齊藤美野（さいとうみの）氏（順天堂大学国際教養学部准教授）

○募集人数：300名程度（申込み先着順）

○申込方法：国立国会図書館ホームページのイベントページからリンクする申込フォームからお申込みください。